

まえがき

私が高校生のころ、あまり仲がよいとはいえない友人との帰り道に、パチンコ店があった。ある日その悪友は「俺にカネを貸せば、パチンコで増やしてやるよ」と私に言った。

「パチンコはとてもむずかしく危険なものだから、慣れている自分に任せる。うまくやってやるよ。それにもし君がうまくいったとしても、換金する方法も知らないだろう」と言うのである。

「失敗したら……？」と聞くと、彼は「それは、君の責任だ」とも言った。

もちろん私は、この悪友におカネを預けることはなかった。当然の話である。常識があれば、命の次に大事なおカネを、他人がバクチをするのにゆだねるなどという気持ちには、とうていなれないはずである。

ところが、この話に納得する人でも、投資信託を買ったことがある人はいるだろう。

あらゆるメディアを使ったPR、それに証券会社や銀行の上手なセールストークによってどんなに安心に感じられたとしても、投資信託は「リスクはすべて購入者の負担で、預かった資金を好き放題に、相場というある種のバクチ場で動かしている」のである。

ここで好き放題と書いたのは、投資信託では運用の結果は公開するが、その過程は全く公開する義務がないからだ。

そして、うまくいってもいかになくても、販売者は3～4%の販売手数料を手にとできる。「俺に貸せば増やしてやる」「失敗したら、君の責任だ」と言った悪友とその本質は変わらないのだ。悪友に貸したのなら、パチンコをしている後ろ姿をみていると言ったかもしれ

ないが、投資信託ではそのプロセスを公開しないのだから、儲けても適当に銀行金利より少しよいくらいの配当でごまかされて、あとは彼らの懐に入れられても全くわからないのだ。しかも証券会社には自己売買部門がある。ひょっとすると自己売買で買って失敗した株は、いったん子会社の投資信託運用会社に値をつり上げさせ、自己売買部門が売り抜ける、ということをやっている可能性がないともいい切れない。

そもそも証券会社は手数料の商売だから、客が損をしようが得をしようがあまり気にしないのである。たとえば、大手証券会社が1兆円以上集めた投資信託が、1年たたないうちに基準価格の3分の2以下に、そして2年で基準価格の半分になってしまったという話を聞いても、証券会社の運用者がいかに先を見る目がないか、これでわかると思う。

それでも、証券会社の人間は毎日相場を見ているので、相場のことをよく知った専門家であるといふ考えがちである。だが、これは単なる錯覚にすぎない。

そもそも、彼らのようなサラリーマン運用者に、のるかそるかのバクチに勝つような期待を込めるのが大間違いなのだ。相場のプロというのは、何年相場を見てきたかのキャリアをいうのではなく、ましてやどれだけ相場の理論や技術を勉強したかをいうのではなく、1円でも多く儲けた人のことをいうのである。

2000年2月9日14時30分。私は外出先でカバンからモバイルコンピューターを取り出し、インターネットに接続した。ブルームバー

グのニュースが目にとまった。アメリカで、ヤフー、アマゾンドットコムなどにハッカーが攻撃を仕掛けている。ニュースはそう告げている。

やがて、オンライン証券会社につながった。オンラインは本当に便利だ。電話注文とは異なり、間違いもないし手数料も安い。オンライン証券も、ハッカーに攻撃されたら大損害だろうなあ。ふと、そんなことが頭をよぎる。

15時。日経平均は、高値引けの2万7円で終わった。私はオンラインで、明日清算になる権利行使価格2万円のプットを、55円で10枚、金額にして計55万円を買った。

私の買った値は、取引時間最後の15時10分についたものだ。もしも翌日、そのまま何もなく2万円台で相場が始まれば、私の投資した55万円は全く価値がなくなる。しかし、私は「今晚ニューヨークが下がれば、明日の日本の寄り付きは下がる」という予想をしてプット・オプションを買ったのである。

その晩、私の思惑通りヤフーやアマゾンドットコムのようなネット株の牽引役が攻撃されことから、IT主導による経済への投資家不安がつり、ニューヨークは総崩れになった。ニューヨークが下がると、翌日の外人のパニック売りをだれも食い止めることはできなかった。

私の投資した55万円は、翌日244万円で清算された。

日本人は1400兆円もの個人資産を持っている。そして銀行の超低金利、ペイオフといった環境の中、日本人のだれもがいやおうなく

IT(情報技術)とFT(金融技術)を象徴する、相場という一種のバクチ場とかかわりあうようになってきた。

命の次に大切なおカネは、自分の手で稼ぐしかない。最初から手に負えないものとあきらめずに、自らが研究し自らの投資戦略を持たなくてはならないのだ。

マーケットの動きは人の動きであり、結局、市場の本質を理解するには、「人間を理解する」ことである。平均株価のような一部の投資家が左右するにはあまりにも大きく、特に人間の感情が短期ではもろに現れるような市場には、優位性の証明されたトレーディング手法が有効に働く。

バクチには、「大数の法則」という、避けては通れない法則がある。バクチは控除率があるため、やればやるほど負けていき、最後にはスッカラカンになってしまう。投資における控除率とは、利益にかかってくる税金、そして手数料である。

本書は、2部構成になっている。

第1部では、トレーディングをするための基礎知識、いわば大学でいうところの一般教養課程を勉強してもらおう。投資という一種のバクチで勝つ前提条件である控除率をいかに抑えるか、また成功するための10ポイントをおさえる。

第2部は、トレード大学の学士課程だ。実際のトレーディングの手法を学んでいく。短期トレードの定石として、さまざまなテクニカル指標の意味を学び、デイトレードのテクニック、そして平常心でトレーディングするコツをマスターしてもらおう。

21世紀は、IT(情報技術)とFT(金融技術)の時代といえるだろう。コンピューターとデリバティブを駆使し、「思惑」を的中させることで、経済の分野で勝者になれる時代なのだ。

本書がきっかけとなり、世界中のマーケットからトレーディング益を稼ぎ出す個人を一人でも多く世に輩出することで、21世紀、日本がITとFTの先進国として発展する一助となれば幸いである。

2002年6月

岡本治郎

自分でできる投資会社の作り方から儲けるテクニックまで

デイ トレード 大学

トレーディングで
生活する!
基礎から
プロのテクニック

免責事項

この本で紹介してある方法や技術、指標が利益を生む、あるいは損失につながることはない、と仮定してはなりません。過去の結果は必ずしも将来の結果を示したものではありません。

この本の実例は、教育的な目的でのみ用いられるものであり、売買の注文を勧めるものではありません。

本書に掲載のチャート画面は、「ネットストックトレーダー」は松井証券、「マーケットウォーカー」は日興ビーンズ証券のご厚意によるものです。また、本書に記載されている会社名、製品名は、一般的に各社の商標または登録商標です。

C o n t e n t s

Contents

まえがき 1

第1部 トレーディングで生活したい! 11

デイトレード大学 一般教養課程

プロローグ / 国家の成り立ちとカネ儲けの障害 12

第1章

財テクは会社をつくってからやりなさい

個人投資家に厳しい日本の法律 15

法人にするとメリットがたくさんある 18

国家にリスクをとってもらおうトレード? 19

D.I.Y.で会社をつくらう 21

資本金600万円で月収200万円も可能 24

定款の目的にあること以外ではできない? 会社の目的大研究 28

定款の認証から登記も自分でできる 29

銀行口座の開設 35

2億円のクッションがあった経営者も... 36

トレーディングをすぐに本業にするのはムリがある 38

サラリーマンが副業会社をうまくやる秘訣 39

道具の考察: 使いやすい会計ソフトからトレーダーのためのパソコンまで 41

投資の仕訳処理は簡単 44

第2章

テイク・オフ・トレーディングビジネス

トレーディングをするための理想の環境 47

デイトレードのメリット・デメリット 50

デイトレードで本当に暮らしていけるのか 53

現物株は危ないから近寄らないほうがいい!! 55

回転売買可、抜群の流動性、まさにデイトレードのためのマーケット 57

SQって何 58

注文の出し方から教えて! 60

証券会社の人にうまくごまかされている気がするのですが 63

プレイヤー紹介 66

試験に出る日経225 68

第3章

成功のための行動と備え10のポイント 79

1. 控除率を試算する 79

2. トレーディング・プランを持って 82

3. 大枠はスイングトレードの手法で 85

4. エントリー前に損切りポイントを決めておけ 88

5. 利を伸ばすために時間をかけよ 89

6. 場が始まる前にプランを紙に書いて、衝動売買を防ぐこと 91

7. 出動回数をしばれ 95

8. 自分の優位性に合わせてポジションサイズを変えよ 98

9. ザラ場中は画面に張り付いていること 99

10. 高いところで売って、安いところで買え 100

一般教養課程修了にあたり / 将棋とマーケットと人生と経営 103

第2部 投資の羅針盤 107

デイトレード大学 学士課程

プロローグ / 稼げる手法をまねてみよ 108

第4章

短期トレードの定石を学ぶ

1. 移動平均 110

2. 一目均衡表 113

3. ボリンジャーバンド 116

4. パラボリック 118

5. カギ足 120

6. 3本抜き新値足 123

7. ディレクショナル・インディケーター(DMI: 方向性指標) 125

8. RSI(相対力指数)とストキャスティクス 127

Contents

9. トレンド・ライン	130
10. トレンド・ブレイクアウトとレンジ・ブレイクアウト	132
11. サポートとレジスタンス	135
12. 短期ピボット	138
13. ギャップ	140
14. マーケット・プロフィール分析	142

第5章

最強のデイトレードテクニック

1. 朝の日課	151
2. 後場寄りブレイクアウト	155
3. 急落・急騰場面の手法「いってこい」を取る! 1時間190円ルール	157
4. 30分ブレイクアウト	163
5. 場ごとの15分レンジ・ブレイクアウト	167
6. インサイド・デイ	169
7. ウップス	171
8. マルチ・ウップス	173
9. COR手法	175

第6章

トレーディングの心構え

なぜトレーディングをする心構えが大切なのか	179
釣れてもよし、釣れんでもよし	181
急ぐな、あせるな、心配するな、そして、強情張るな	182
腹を立てるな	185
天狗になるな	186
欲を出すな	187
半身に構えて	189

学士課程修了にあたり/日本はマーケット教育で金融立国として再生する 192

あとがき	197
参考文献	200

第1部

トレーディング で生活したい!

デイトレード大学 一般教養課程

プロローグ

国家の成り立ちと カネ儲けの障害

先日、テレビで、映画「マッドマックス2」をやっていた。この映画では未来の話だが、われわれの先祖は大昔、車こそないものの、映画さながら、食料や女、それに鉱物資源をめくって争っていたはずである。

個々の人間は、自分の欲求を利己的に追求している。資源は限られているので、他人との争いや利害対立が生じる。過去の大部分の時代で人間が死ぬ最大の原因は、寿命よりも、戦争も含めた他人による殺害であった。

動物には通常天敵がいるが、種としての人間にとって最大の天敵は、実は同種の他個体、すなわち同じ人間であったことは歴史をみれば明らかだろう。

時を経て個々人は、そのような競争敵対関係にある他の人間から自らを守るため、集団で暮らすようになる。

初めは、家族・親族がいくつか集まっただけの集団だったのが、やがて敵対集団に対抗するために大きくなり、部族となり、そして国家となった。国家は国家で、ほかの国家と対立している。そもそも国家は、隣り合う他の集団・国家からの防衛のために人が集まった集団なのだ。

歴史上、戦争とは鉱物資源や土地などの資源をめくっての争いだった。部族や国家のそもそもの機能は、構成員の協力で、他の国家から自国民を守り、あわよくば隣の国家の資源を奪うことだった。

近代になると、国家転覆の要因は、他国から侵略されること以外に革命というものが増えた。革命は、社会の底辺にいる恵まれない人たちが、国家の上流階級や貴族の地位を奪い取る行為だ。人間は嫉妬する生き物である。国家は第二の脅威となった革命を未然に防ぎ、国民の嫉妬心をなだめるため、一夫一婦制や累進課税、独占禁止法といった法律をつくっていった。

資源の平等を国家が課すことによって、一人で100人の美女をばべらす男性や、極端にリッチな国民が出にくくなる。スハルト大統領があまりにも富を築いたために起きた、インドネシアの暴動をみてもわかるように、大多数の一般国民の嫉妬心をなだめることによって、国家は調和を保つことができ、ひいては隣り合う他の国家との競争に打ち勝つことができるのだ。

国家は、国民の福祉のためではなく、革命を防ぎ国家の存続を図るために、法律を制定する。国家が極端なおカネ持ちをつくることを阻止する制度をつくっているということは、成功しようとしている個人がカネ儲けのタネをみつけたあとの最大の障害は、国家とい

うことになるだろう。個々人の幸せと国家の利益は一致しないのである。

国家は法律によって、国家の安泰を維持するために、社会内の個人や集団の競争を調整したり制限したりするわけだが、国民はそれぞれ自己の利益を追求している。国家は税金というしくみによって個人が極端に富を蓄えるのを許さない。

そこで、知恵のある個人は、会社という抜け穴を利用して、税金を安くする方法を思いついた。

第1章

財テクは会社をつくってからやりなさい

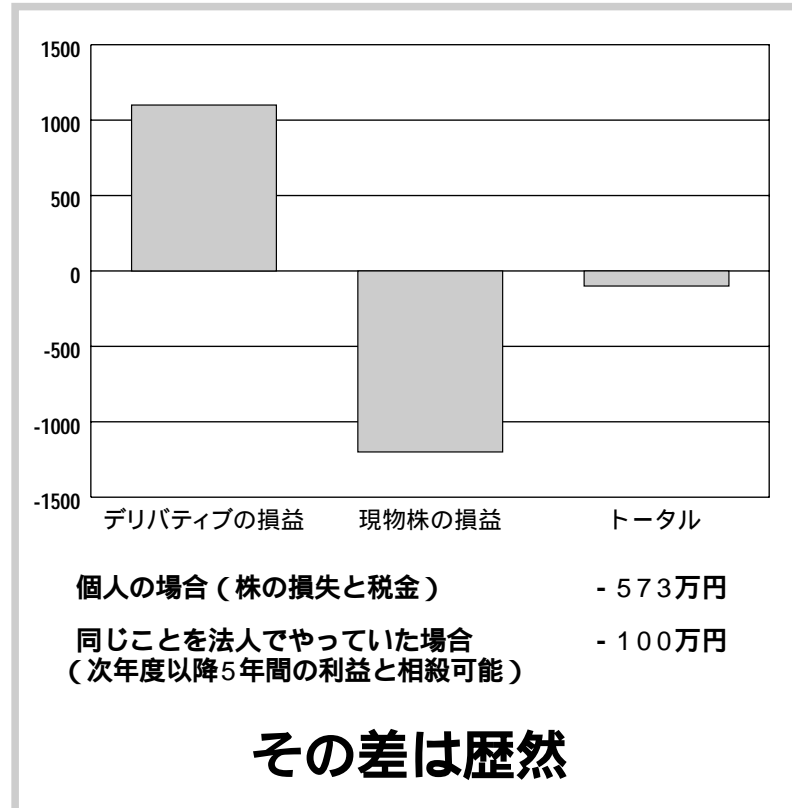
個人投資家に厳しい日本の法律

日本の法律は、個人投資家には大変厳しくできている。

仮に、ある個人投資家Aが、ある年度に現物株式で1200万円のマイナスを出し、損切りを余儀なくされたとしよう。しかし、彼は日経225のトレードもしていて、先物・オプションの方では1100万円のプラスが出たとする。このような場合、日本の税制では個人投資家の株の損について、先物取引の利益と損益通算ができるようになっていない。

デリバティブの利益については雑所得扱いとなり、給与所得と合算して累進課税で税金がかかってくる。仮に900万円の給与所得がある人ならば、デリバティブの雑所得1100万円に対する税金は、所得税・住民税合わせて43%で473万円にもなる。そもそもの投資の

図1-1 個人は同じ株式投資なのに損益通算ができない



マイナス100万円と税金のダブルパンチとなり、トータルでマイナス573万円になってしまう。

もし、これと同じことを法人でやっていたらどうなるだろう。株と先物・オプションの通算成績はマイナス100万円。これはそのままマイナスとして認められ、税金を払う必要はない。さらにこのマイナスは翌年に持ち越して、翌年の利益と相殺することができる。

図1-2 個人の税率(所得税、住民税)

所得税率		
課税所得金額	税率	控除額
330万円以下	10%	
330万円超	20%	33万円
900万円超	30%	123万円
1800万円超	37%	249万円

住民税率		
課税所得金額	税率	控除額
200万円以下	5%	
200万円超	10%	10万円
700万円超	13%	31万円

所得税・住民税合算税率		
課税所得金額	税率	控除額
200万円以下	15%	
200万円超	20%	10万円
330万円超	30%	43万円
700万円超	33%	64万円
900万円超	43%	154万円
1800万円超	50%	280万円

しかもこの損金の繰り越しは最長5年まで可能なのだ。

個人の場合、先物・オプションの損益は雑所得となり、雑所得内で損益通算ができるが、給与所得などほかの所得とは損益通算ができず、総合課税となる。たとえば、先ほどとは逆に、現物株で儲けてデリバティブで損をした場合を考えてみよう。現物株の利益は譲渡所得なので、現物株の儲けとデリバティブの損を損益通算するこ

とはできない。つまり、デリバティブで儲かったときは、給料などの他の総合課税の所得と合算して累進課税だが、デリバティブで損したときは、課税対象の所得からいっさい相殺されることはないのである。もちろん雑所得内で損益通算できるものの、個人にとっての雑所得とは原稿収入ぐらいだろう。原稿収入で損が出ることはまずありえない。

この国で、個人投資家が株を売買することが、そして個人がデリバティブをやるのが、いかに税法上不利なことか理解できただろうか。

そこで私はみなさんに、「投資をするなら会社をつくってからやるべきだ」と進言する。欧米では、個人投資家が、現物株と株価先物、そしてオプションを組み合わせて、さまざまな投資戦略を考えている。アメリカだと、主婦でもオプションをやっているぐらいである。日本では、国家が個人投資家はヘッジをするなど言っているようなものなのだ。丸腰の投資家は、投資・資産運用のための会社を設立する以外、まともに投資などできない。

有限会社であれば監査役も不要で、一人で簡単につくれるし、資本金もたったの300万円で設立できるのだ。

法人にするとメリットがたくさんある

さて法人にすると、どんなメリットがあるのだろうか。

税金については、利益が800万円を超えると法人税率が高くなる

が、個人の累進課税ほどではない。

さらに法人であれば、個人で投資をやっていたときと違い、いろんな経費が認められるようになる。小さな会社の経営者は、なんとかして税引き後利益を大きくしようと、利益を含みに変える工夫をするものだ。コンスタントに入ってくるおカネが予測できるような商売だと、たとえば社有車として700万円のBMWを買くと、定率法であれば初年度から減価償却が最大32%できる。つまり、32%がその年の経費として認められるわけだ。

ところが、本を書くような仕事にありがちなことなのだが、営業年度も終わりに近づいた最後の月に、ポンと印税が振り込まれるなどして1500万円の利益が出たとすると、そのときになってあわててBMWを買っても税金対策にはならない。なぜなら営業年度の最終月では、32%の12カ月分の1、すなわち3%も減価償却できないからだ。1500万円の利益に対して、もろに税金がかかってくることになる。さらに翌年には中間申告として、前年度の納税額をもとに、予定申告として半分を先に払うことになってしまう(ただし仮決算による中間申告も可能)。

国家にリスクをとってもらおうトレード?

では、せめて税率の境界線である800万円まで一気に利益をなくす方法はないものだろうか。こんなときに便利なのが、株価指数オプション取引である。

翌日清算というS Qの前日3時過ぎに、100円以下の値段になった、すでに価値のほとんどない、アットに近いものを買うのである。

たとえば私がやったように、日経平均が2万7円で終わったときに、権利行使価格2万円のプットを買うわけだ。「上がるか、下がるか、そのままか」三者に1つのオール・オア・ナッシングの投資法ではあるが、会社の儲けを使う場合なら、リスクのほぼ半分を国家の負担で投資ができる。

どういうことか、もっと詳しく説明しよう。

もし1500万円の利益を持ったまま、何もせずに営業年度を終わると、税金がもろにかかってくる。通常、800万円以上の利益に対しては、それ以下の法人税が22%なのに対し、30%となり、さらに法人住民税・事業税がかかり、税率は50%近くになってしまう(利益が1500万円を越えると、さらに同族会社の留保金課税も重くのしかかる)。

ここで、2万円のプットを700万円で買ったとしよう。もしも翌日、相場に何も起こらず、あるいは相場が上昇して寄り付いた場合、投資した700万円はゼロとなる。しかし、何もしなかった場合、どうせ半分は国に持っていかれるおカネだったのだ。もう営業年度も終わりなので、すでに国のものといってもいいようなおカネだ。ということは、実質的にこの投資は、350万円を国の負担で行ったのと同じである。そして、もしも翌日、思惑通り相場が下がって700万円が5倍の3500万円になれば、実質350万円を使って10倍にしたことになるのだ。こうなると、東京の高層マンションの最上階にでも広いオフィスを借りて、消耗品扱いになる1つ10万円以下の北欧

家具をいくつも買って、それでも使えない分は、新聞に出版の一面広告を出して、翌年の印税収入にするという手もあるだろう。いずれにせよ、その年の経費として、大急ぎで使うことになる。そして翌年始めに、32%の減価償却をフルに利用して高級車を買うのだ。

しかし、何も営業年度の最後の月に急いでやらなくても、通常の商売ならだいたいの利益予測はできるはずだ。利益が1000万円出ると予測できるなら、その1000万円を5つに分ける。そして、1回あたり200万円を毎月S Q前日の3時に賭けるのだ。やはり、上がるか下がるかそのままかのやり方ではあるが、当たれば3倍や5倍は普通にある。マネーマネジメントさえしっかり行い、コンスタントに定額を賭けることを守っていれば、長期的に増やしていける可能性がある。

もちろん、ここまでのやり方だと、たんなるバクチ経営だ。だが、もしもその先の相場が予測できれば、ボラティリティを利用して大きく稼げる手法となる。

21世紀の最先端財テク経営は、このあとの章でご説明しよう。

D.I.Y.で会社をつくらう

趣味を持つと、人生楽しくなるものだ。子供を育てるのも大事業だが、自分の分身のような会社を1から手づくりすると、まるで芸術作品を制作しているかのような楽しみが味わえる。

日本には2002年現在、法人が300万社あるという。そして毎年13

万の新設法人が新たにできている。一方、毎年16万社が廃業している。廃業している法人のほうが多いのが悲しいところだが、こんな不況の時代でも、10万を超える新設法人が毎年できているのだ。まずは、法務局に行ってみよう。なるほど、会社を設立しようとする人はけっこういるものだ。会社の設立など大変なのでは? とこれまで思っていた普通の人でも、法務局で主婦や若者が自分で手続きを進めようとしているのをみれば、やる気が出てくるはずである。

では、私の会社設立のケースをお教えしよう。

会社をつくるとなったら、まず、最初にセンスよく会社の名前を決めよう。私の名前は「じろう」なので、じろうの会社ということで、「Jiro's Corp.」。しかし、これをそのままジロウズコープと読むのでは面白くない。ジャイロスコープと読ませて、みなさんの投資の羅針盤 (Gyroscope) という意味にかけてみる。さらに辞書で調べると ~scope とは、「~を見る機械」とあるではないか。経済・社会を見る機械。はては、自分自身や人間を見る機械。さらに、ちょっとつづりと読み方が違うが、特ダネの意味のスcoop (Scoop) は、くだけた言い方になるが、「大儲け」という意味がある。投資に関する特ダネを見つけて大儲け、となかなかの名前になった。

名前が決まったら、設立しようとする本店予定地に、似た名前があるかないか類似商号のチェックをする。

また、この段階で会社設立予定日も決めておくといいだろう。私は「自分がトップになれる分野にしか進出しないぞ」という決意をいつまでも忘れないために、設立年月日を1月10日、つまり「一等」にした。

次に会社の場所だが、とかく経営者は、特に初期の段階で成功すると、気をよくして自らのエゴにカネを使う傾向がある。しかし、よく考えてほしい。パソコンと電話さえあればできる投資業に、立派なオフィスは必要ない。私の場合は、大家の許可を得て自宅を会社の本店所在地として登記した。投資業の場合、ムダな経費を使わないためにも、登記上の本社は自宅にしておくのがいいだろう。自宅を「仕事場」にすることで、家主である自分から、会社にその一部を賃貸するという形で、一部家賃を経費として落とすことができるというメリットもある。

見栄を張らずに実を取る。「儲かって儲かって、税金対策が大変だ」ということでもなれば、もう一つ、港区あたりに会社名義でマンションを借りればよいのだ。ぜいたくな書斎は、儲かって大変になってからの楽しみにとっておこう。

有限会社の設立には、出資者の実印が必要だ。実印に彫る文字は、名字だけでも名前だけでも、またフルネームでもかまわない。印鑑登録できる印鑑の大きさには決まりがあって、一辺が0.8cmの正方形より大きく、2.5cmの正方形の中におさまるもの、というルールになっている。

私は特別注文の枠に、フルネームで縦に名前を彫った。それも自分でデザインして手彫りの職人に頼んだ。

ルールにそってその中で自分独自の持ち味を出すと、そしてそれがクリエイティブな形として残るものなら、ささいなことでも楽しいものである。印鑑という枠の中でも、工夫することで、これほど楽しくなるのだ。会社経営ともなれば、ルールはあるものの、その

中で工夫のしどころもたくさんある。サラリーマンやOLにとっては、日曜大工ならぬ日曜経営といったところだが、自分の作品をつくるという意味で、会社をひとつひとつ手づくりすることは、クリエイティブで、わくわくする楽しい経験なのだ。

資本金600万円で月収200万円も可能

有限会社の資本金は300万円以上と決められている。上限はないから300万円以上であれば、いくらでもかまわない。

資本金は、会社を設立したあとの会社の運転資金になる。通常、事業を始めたばかりの会社にとって、資本金が多いほど運営は楽になる。

だが、あなたはまだトレーディングに関しては素人だろう。ならば初めは小さく賭けて、トレーディングの経験を積むことが重要である。身の丈にあわない資本金を持つと、つい大きな建玉をしてしまうものだ。増資もできるのだから、資本金は先物に必要な証拠金、とりあえず300万円もあれば十分だろう。

私のトレード経験は、日経平均株価指数先物、いわゆる225先物を朝に3枚売りから入って、その30分後に100円下の指し値で買い戻し、30万円儲けたことに始まった。当時この取引に必要な証拠金は300万円だった。

投資というものは、なぜか最初は勝つもので、一度成功を収めると「自分は何をやっても勝つ」、いわば自分を神に近い存在と勘違

いしてしまいがちである。その結果、「謙そん」や「恐れ」を失ってしまう。不思議なことに「成功」が「失敗」の素になるのだ。だから初めは小さく建てて、少なくとも半年は、さまざまな相場を経験したいところだ。

デリバティブの世界は、儲かるのも資金を失うのも、通常の取引の10倍のスピードだと思っていい。うまくいくやり方だとどんどん儲かるし、うまくいかないやり方だとすべて失うのも時間の問題だ。

もしも最初の資本金が大きすぎると、資金を失うやり方だったとしても気づくのが遅くなる。また人間とは弱いもので、何かの拍子について自分の持ち金を全部賭けてしまうものだ。まあ、初心者は200万円ぐらいで始めて、しばらく1枚だけトレードするという期間を持つのがいいだろう。

銀行に支払う出資払込金事務手数料は、各行によって違ってくるが、払込資本金の約0.25%だ。資本金が300万円なら7千5百円の手数料、500万円だと1万5千円が相場だ。

これら以外にも、資本金の額によって、交際費の損金算入金額が違ったりしてくる。このあたりのことは国税庁のホームページなどに詳しいので、自分で調べてみることをお勧めする。

<http://www.taxanser.nta.go.jp/>

次に、資本金の額が決まったら、出資単位を決める。有限会社の出資単位は一口5万円以上と決められている。5万円以上ならばいくらでもかまわない。一口が10万円でも、極端な場合は一口500万円でもいいのだが、これだと増資をする単位も500万円ごとになっ

図1-3 資本金と法人住民税の関係

法人県民税 法人税割部分	
資本金の額	税率
1億円以下で法人税額が1000万円以下の法人	法人税額の5%
その他の法人	法人税額の6%

法人県民税 均等割部分	
資本金の額	税率
1000万円以下	年2万円
1000万円超1億円以下	年5万円

法人市民税 法人税割部分	
資本金の額	税率
1億円未満	法人税額の12.3%
1億円超5億円未満	法人税額の14.7%

法人市民税 均等割部分	
資本金の額	税率
1000万円以下	年5万円
1000万円超1億円以下	年13万円

従業員はいずれも50人以下
地方自治体によって多少異なる

てしまう。一口5万円が妥当だろう。

さて、図1-3をみてわかるように、資本金が1000万円を超えると税金が高くなる。

交際費も、資本金5000万円以上の会社の場合は、必要経費にする

ことはできない。ところが、資本金1000万円から5000万円未満の会社であれば年額300万円まで、資本金1000万円以下の会社では年額400万円までの交際費は、必要経費として損金への算入が認められている(ただし、その金額のうち、20%は損金への算入ができない)。

消費税は、資本金が1000万円未満であれば、最初の3年までは納税免除となる。投資業だけなら関係ないところだが、ほかに商売をする場合や、する予定があるなら、999万円以下の資本金にしておくといいたいだろう。

おカネに関しては、あとで個人から会社への貸付金という形にすることもできる。会社にとって借金はメリットがある。負債に対する利子の支払いは、法人所得から控除されるからだ(個人所得は増えることになる)。これは、税引き後のキャッシュフローが増加することを意味する。さらに、通常は銀行から借金をすれば財務リスク(倒産のリスク)が増加するが、同族会社のオーナーが会社に貸し付ける分には、財務リスクなど無関係だ。

ということは、資本金は300万円から999万円の間で自由に設定するのが、税務上一番賢いということになる。

ただし300万円だと、車一つ買っても元手がなくなってしまうので、できれば倍の600万円ぐらいにして、余裕を持たせるといいだろう。これなら300万円の車を買っても、残り300万円を運用に使える。車は定率法で年ごとに減価償却できるし、あるいはリース契約にするという手もある。

定款の目的にあること以外はできない? 会社の目的大研究

有限会社をつくるときには、定款を定めなくてはならない。そしてその中で会社の目的を掲げることになる。

しかし、さすがに役所は、投資の税金対策だけのために有限会社をつくることにいい顔をしないだろう。だが、もちろん、会社に一番大きなメリットは節税なのだから、定款の目的には「投資業」と入れる。さらに、より具体性をもたせるために、株価指数先物取引、株価指数オプション取引、海外株価指数先物取引と入れておく。こうすることで、のちのち煩わしい経理の処理で、普通の会社であれば投資による利益を「営業外利益」とするところを、「営業利益」とすることができる。

会社は定款に掲げられた目的以外のことはできないが、目的はいくつでも掲げてかまわない。せっかくだから、何か別の商売や自分の特技を生かした商売、執筆業、ホームページの企画・制作、web通販、インターネットを通じてのコンサルティング・ビジネスなど、とにかく何か商売を含めておくといいだろう。あとで付け足すと3万円かかることになるので、興味のあることや、将来やりそうなことは多めに書いておこう。私の会社の定款や登記簿謄本を図1-4～図1-5に掲載しておいたので、参考にしてほしい。

定款に記す営業年度については、2月末決算にすると税務署がそれをチェックするのは2カ月後の4月となり、新年度になるので彼らはやたら張りきっている。税務署がだれる年度末に彼らが目を通

すように、決算を11月、12月、1月に持ってくるとチェックが一番甘いといわれている。もちろん、必ずしもその通りとは限らないので、自己責任で願います。

定款の認証から登記も自分でできる

定款の認証から法務局での登記にいたるまでの作業は、自分でやっても簡単にできる。しかし、定款の認証から法務局まで一連の作業は、実は、行政書士を食べさせるためにあるようなもので、自分でやろうとすると、あととお役所での手続きの際にいやがらせを受ける場合があるらしい。一言一句こまかいところまで入念にチェックされ、許認可がなかなか下りないのだ。

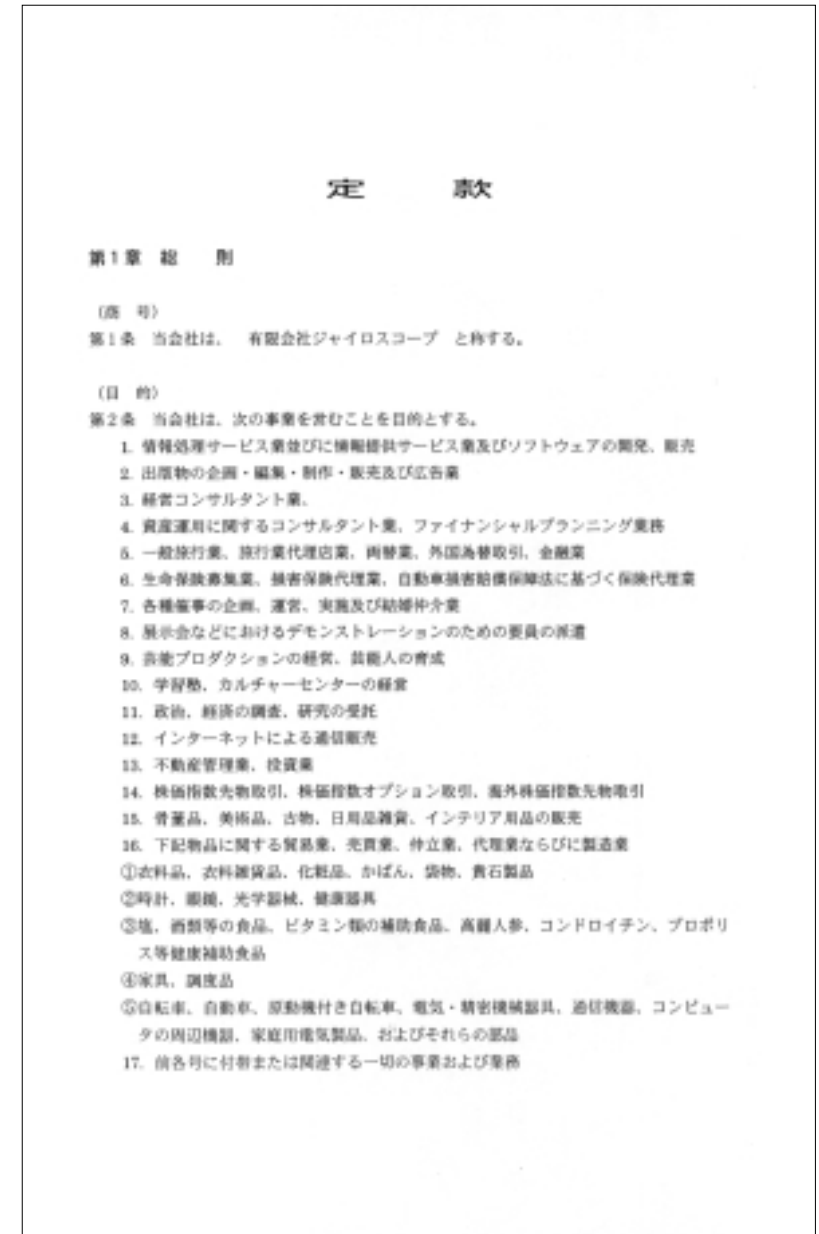
しかし、自分でやっても簡単にできることだし、許認可の必要な事業でもないし、お役所の嫌がらせといっても限られているわけだから、できるだけ自分でやってしまおう。これから会社をつくろうとするあなたは、いらぬおカネを使っている余裕はないはずだ。

私は全部自分でやったあと、この話を銀行で聞いて、許認可の必要な事業でなくてよかったと胸をなで下ろしたものだ。

図1-4 有限会社ジャイロスコープの定款



図1-4 有限会社ジャイロスコープの定款(つづき)



- ・手仕舞いは、あらかじめ決めておいたストップ・ロスのルールに従う。
- ・逆の方向にCORが出たら、利食いおよびドテンをする。
- ・トレイリング・ストップ・ロスは、いったん、ある程度の利益が達成されてから、50%の戻しで行う。
- ・利食いは、ストップに引っかかってエグジットするか、CORの三本を含む11番目の利益の出ている足の最初、あるいは23番目の利益の出ている足の最初に行う。
- ・もしこれらの条件のいずれにも合わないなら、分足CORの場合は、同日の大引けでエグジットする。

まずは、日足でCORになっているかどうか、週足でCORになっているかどうかをチェックする。より大きな時間枠でのトレンドが優先だ。これはほかのデイトレード手法にもいえることだが、大きなトレンドのときは、より長い時間枠での手法のサインが優先され、より短い時間枠の売買ルールはすぐダマシに遭ってしまう。

ストップ・ロスの最適値は、時期とボラティリティによる。

これもデイトレード全般にいえるが、特にCORは大きなストップ・ロス、余裕を持ったストップ・ロスが大切である。損切りがないのはもちろん問題外だが、たいていのトレーダーは損切りの幅があまりにも小さすぎる。それが利益を上げる最善の方法だと思っているようだが、それは大間違いである。

デイトレードとして考えた場合、イントラデイの分足でのCOR

図5-5 CORとウップス



なら、その日の大引けで不出来引成りをつけるところだが、分足のCORでも、その日にエグジットしないで持ち越してよい。短期ピボットやカギ足など、ほかの手法と組み合わせることで、大いに利益を伸ばしてくれる。もちろん、ナスダック市場が日足レベルで、反対方向へのCORになっていないことが大前提だ。

デイトレーダーでも1日で手仕舞うよりも、なるべく長くポジションを持ったほうが、利益がより多く期待できる。「利益の乗ったポジションを持ち続けよ」というのが私の主張だ。もちろん、複数枚建玉しているのなら、一部はその日の大引けで利食い、残りを翌日寄り付きで手仕舞うのがよい。

第5章 まとめ

デイトレードの手法よりも、スイングトレードの手法のほうが優先する

場が始まる前に、日足や30分足などチェック、そして準備をする(例:日足でCORになっていないか?)

マーケットはトレンドともみ合いを繰り返している。大きなトレンドの次の場はもみ合いだ

順ばりでいくべきときと、逆ばりでいくべきときの使い分けをマスターする

朝の日課を使うべきとき、また、使ってはいけないときの違いをマスターする

後場寄りブレイクアウトが機能するのはどんなときかを知る

30分ブレイクアウトこそ、デイトレード最強の手法

15分レンジブレイクアウトを、ほかのテクニカル指標との適合具合で使うことで、より早くトレンドに乗っていくことができる

第6章

トレーディングの心構え

なぜトレーディングをする心構えが大切なのか

トレーディングのように、心理面でこれほど人間の感情を揺さぶるゲームは、ほかにないだろう。

人間、健康が一番だ。心のあり方は体に影響する。多くのトレーダーが、トレーディングのストレスで、肺炎となったり体をこわしてしまう。肺炎は脳が原因で起こる病気で、ドーパミン・セロトニンの活性を高め、肺に雑菌が入らないようにすれば防げる。ところが、たとえばマーケットを「こうなったら、困る」というような思いでみていると、トレーダーは自分にとって悪いほうに価格が動くたびに、しかめっ面をすることになる。トレーディングをするときに、目が痛くなったり、疲れたりするのは「みたものが気に入らない」という思いでマーケットをみているので、目の筋肉がおかしな